

2023-1-1
No.1084 500円

思想運動

労働組合・労働者の反戦闘争	2~3面
壊憲NO!96条改悪反対連絡会議の憲法闘争	4面
戦争と平和の問題を考えるこの三作	5面
岸田政権の原発政策にNO!	6~7面
大阪の火曜行動が500回目	8面
労働問題=ウーバーイーツ・京成電鉄脱線	10面
(最終回)「神聖喜劇」紀行 対馬への旅	11面



山下菊二〈鶏群地獄〉(1973年)

1973年の山下菊二(1919~1986)のこの作品からは、16世紀の画家ボッシュを思わせる幻想的で豊饒な風刺のイメージが伝わる。ただ、同時期の〈反天皇制シリーズ〉や少しあとの〈戦争と狭山裁判〉のカラーズに見られる反権力・反差別の直截な表現はここにはない。しかし、この作品では、人間社会を蝕む現代の「地獄」、そしてそれへの恐れや危機感覚が、寓意的にはあるが確実にシュルレアリスムの手法で形象化されている。

滅びへの道

石川逸子

かつて 怪しい目論見は
ひそかに進められたものでした

今は 大手を振って 舌を出しながら
進められていきます

核兵器製造の日を 待ちつつ
46トンのプルトニウムを溜め

「敵基地攻撃能力」を
「反撃能力」と置き換え

20年前 誓われた
日朝平壤宣言を 弊履のごとく捨て去り

《明治》に奪い 《昭和》で捨て石にした
琉球を いま ミサイル要塞化し

《丁寧》な説明は かなぐり捨て
NATOの一員になったかのように

マスメディアを ネットを 味方につけ
Jアラートで 脅えさせ

わたしたちの税を
惜しげなく ウォール街に捧げ

でも 怪しい目論見は
怪しい目論見 わかりきった滅びへの道

見抜き 一心に 叫んでいるのは
生れてくる 声の出せない子どもたち

深夜 樹木のささやき が
その声を ひそかに 伝えてくれています